

夏期セミナー見学・体験実習コース プログラム
共同利用・共同研究拠点プログラム

新潟大学脳研究所は、平成22年度より共同利用・共同研究拠点到認定されました。これを機に、夏期セミナー第1日目の見学・体験実習コースを共同利用・共同研究拠点プログラムとし、参加者に旅費(交通費と宿代;新潟大学の規程に従う)を支給します。参加希望者は、[こちらの申込書](#)に記入のうえ事務局にお申し込みください。

① 基礎神経科学履修コース

A. フラビン蛋白蛍光イメージング実習 (8月3日～5日、定員 6名)

目的:

1. マウス感覚野の脳活動を経頭蓋フラビン蛋白蛍光イメージング*で記録する実技を習得
*脳研究所システム脳生理学分野HP (<http://www.bri.niigata-u.ac.jp/~physio/>) 参照
2. 視覚野、体性感覚野、聴覚野のそれぞれにおける機能的脳地図を作成

場 所: 脳研究所A棟5階、システム脳生理学分野

持参するもの: 汚れても良い服装、もしくは白衣

日程:

8月3日(火)

- 10:00～ フラビン蛋白蛍光イメージングについて(講義)
グループ分け(A、B、C、各2名ずつ、最大6名)
- 14:00～ 実習(1)A:視覚野、B:体性感覚野、C:聴覚野のイメージング

8月4日(水)

- 09:00～ 実習(2)A:体性感覚野、B:聴覚野、C:視覚野のイメージング
- 14:00～ 実習(3)A:聴覚野、B:視覚野、C:体性感覚野のイメージング

8月5日(木)

- 10:00～ 各グループ発表会及び質疑応答
- 14:00～ 最先端のフラビン蛋白蛍光イメージング(セミナー)

B. 遺伝子改変動物作製の実際 (8月4日～5日、定員 4名)

この実習では、遺伝子改変マウス作製方法の実際を講義する他、ES細胞の培養法や組換えクローンの同定法の実際を見学する。また、ES細胞からキメラマウスを作出する技法である胚インジェクションや胚の移植など発生工学的な実験を供覧する。さらに、遺伝子改変動物の遺伝子型の判定や行動解析の実習をおこなう。

集合場所:脳研究所脳機能研究センター6階メディアホール

日程:

8月4日(水)

13:00～14:00 概要説明
14:00～15:00 ベクター作製の実際
15:30～16:30 ES細胞の培養法
16:30～18:30 PCRによる遺伝型判定等

8月5日(木)

08:30～12:00 ES細胞の胚インジェクション等
13:00～14:00 胚の移植
14:00～15:00 遺伝子改変マウス行動解析
15:30～17:00 コンディショナルターゲティング法

希望者は、申込用紙に現在の所属と身分、連絡先、さらに、遺伝子改変動物を用いた研究の計画の有無(差し支えない範囲での具体的な計画)を記載し、申し込んでください。また、分子生物学的なスキル(例えば、PCRの経験の有無)や細胞培養の経験などがあればその点も記載して下さい。用紙が不足する場合は別紙に記載下さっても結構です。

通常限定したスタッフしか入れない動物実験施設での見学・実習をおこなうために限られた人員しか受け入れられません。そのために上記項目を参考に人選をおこないます。